

平成 29 年 4 月改訂

高砂みなとまちづくり構想 行動計画 改訂版

平成 29 年度（2017）～平成 37 年度（2025）



高砂みなとまちづくり構想推進協議会

目 次

1 高砂みなとまちづくり行動計画改訂にあたって

- (1) 行動計画改訂の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 1
- (2) 行動計画の検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 1
- (3) 行動計画とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3
- (4) 行動計画の枠組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 4
- (5) 改訂のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

2 基本方針実現のための取り組み（概要）

- (1) 高砂ウォーターフロントミュージアムづくり・・・・・・・・ p 6
- (2) 高砂産業ミュージアムづくり・・・・・・・・ p 7
- (3) 高砂歴史ミュージアムづくり・・・・・・・・ p 8

3 高砂みなとまちづくり行動計画 改訂版 取り組み43項目・・・・・・ P 9

4 取り組みカルテ

- (1) 高砂ウォーターフロントミュージアムづくり・・・・・・・・ p 1 0
- (2) 高砂産業ミュージアムづくり・・・・・・・・ p 1 3
- (3) 高砂歴史ミュージアムづくり・・・・・・・・ p 1 6

1 高砂みなとまちづくり構想行動計画改訂にあたって

(1) 行動計画改訂の趣旨

高砂みなとまちづくり構想は、「東播磨地域ビジョン」、「高砂市総合計画」、「瀬戸内なぎさ回廊づくり構想」を考慮しながら、みなととその周辺部において多くの企業が立地する水際線を市民に開放するなどにより、快適で美しく賑わいのある水辺空間を提供することで市民生活に癒しと安らぎを与えるとともに、港湾・道路などの社会基盤や地域資源を活用し、産業と地域の活性化を図ることを目的として、平成 17 年 3 月に目標年次を平成 37 年として策定されました。

この構想の基本理念は、市民、企業、行政の融和、連携、参画と協働によりつくりあげた高砂みなとまち「輝く高砂みなとまちミュージアム構想」とし、「高砂ウォーターフロントミュージアムづくり」、「高砂産業ミュージアムづくり」、「高砂歴史ミュージアムづくり」の3つの基本方針を掲げ、その施策を具体化するため、平成 19 年 6 月に策定した「高砂みなとまちづくり行動計画」に取り組んでまいりました。

平成 27 年度は、「高砂みなとまちづくり構想」の中間年度となるため、これまでに展開してきた行動計画の検証を行い、新たな課題や、時代潮流、社会環境の変化を踏まえ、また、平成 28 年度に策定した「第4次高砂市総合計画 後期基本計画」、「改訂版 東播磨地域ビジョン」を考慮しつつ、構想の基本理念、基本方針を踏襲し、行動計画のプラン、取り組み期間、取り組み項目及び内容を見直し、このたび平成 29 年度からの次の 9 年間で計画期間とする「高砂みなとまちづくり行動計画 改訂版」を策定しました。

(2) 行動計画の検証

- ① 検証結果：完了・達成したプラン、引き続き継続していくプラン、取り組みがされていないプランに仕分けしました。

短期取り組み評価

プラン・・・・・・・・・・58 プラン

取組項目・・・・・・・・・・64 項目

A：完了・達成 48 項目（継承 21 項目、継承しない・終了 27 項目）

B：継続中 11 項目（継承 11 項目）

C：実施・着手せず 5 項目（継承 3 項目、継承しない・終了 2 項目）

② 産業の振興

製造品出荷額等

平成 17 年度：7,012 億円  平成 26 年度：9,131 億円

③ 主な取組実績（ハード施策）

高砂ウォーターフロントミュージアムづくり



パブリックアクセス事業（あらい浜風公園）



高砂西港再整備（高砂みなとの丘公園）

高砂産業ミュージアムづくり

高砂西港再整備



沖浜平津線（南端部）



港湾整備、盛立地対策

高砂歴史ミュージアムづくり



歴史的資源の保全・再現

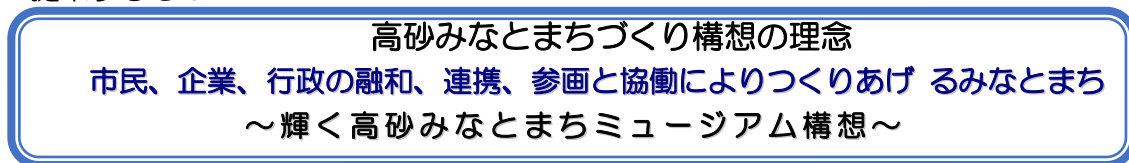


祭りの保全・活用

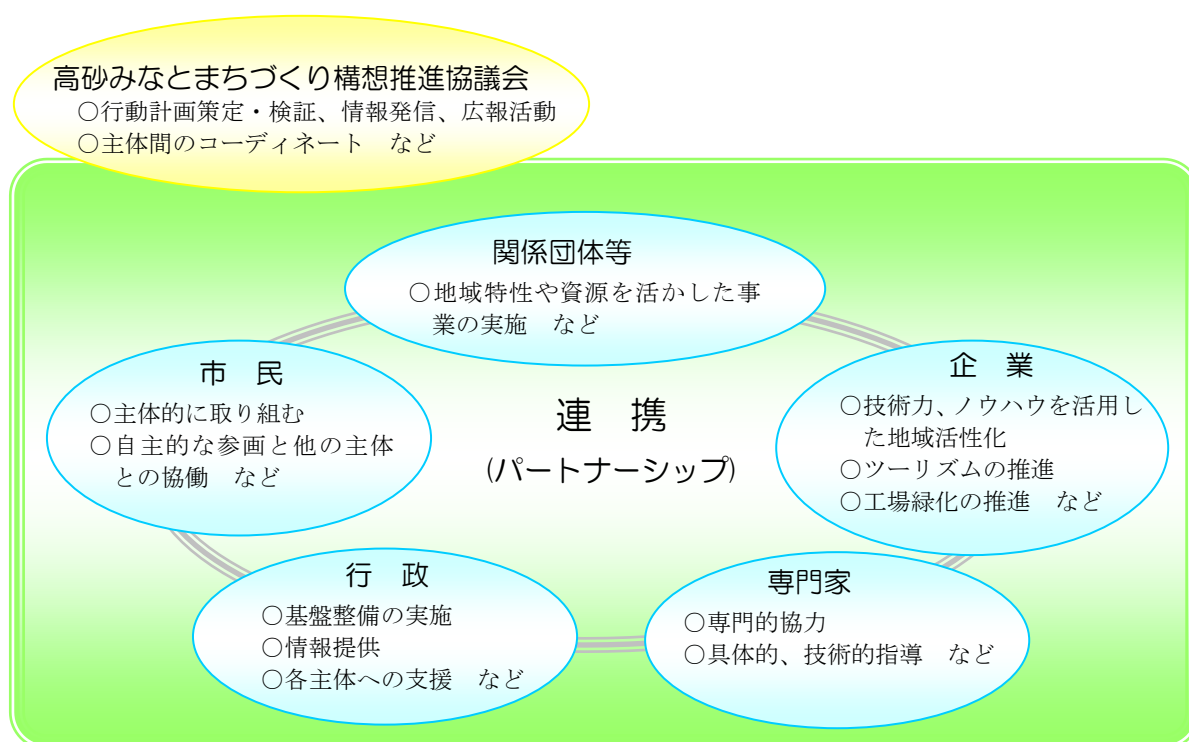
(3) 行動計画とは

高砂みなとまちづくり構想の基本理念と施策を具体化するため、市民、企業、関係団体、専門家、行政などが一体となって取り組むためのプログラムです。

- ① 高砂みなとまちづくり構想の理念を共有し、その実現に向けた取り組みの方向性を示し、提案するもの

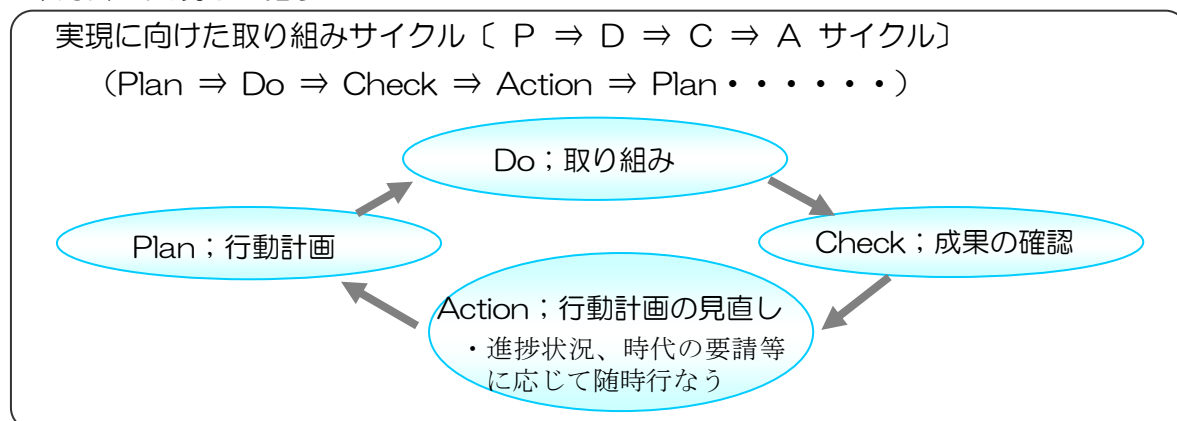


- ② あらゆる主体（市民、企業、関係団体、専門家、行政など）が自主的に、あるいは連携・協力して取り組んでいくうえでの指針となるもの



各主体の役割・主体間の連携

- ③ 社会情勢や市民ニーズの変化、取り組み状況に応じて検証し、適宜見直しを行いながら基本方針の実現を目指すもの



(4) 行動計画の枠組み

① 行動計画は、次の枠組みで取りまとめます。

○ 時間的な枠組み

構想が長期にわたるため、次のとおり期間を定めて行動計画のプラン进行分类します。

短期	： 5年以内に行う取り組み
短・中期	： 10年以内に行う取り組み

○ 基本方針（ミュージアム）による枠組み

構想はウォーターフロント、産業、歴史の三つのミュージアムで構成されているため、それぞれのミュージアムごとに分類します。

但し、2つ以上のミュージアムに跨るプランについては、そのことを明記します。

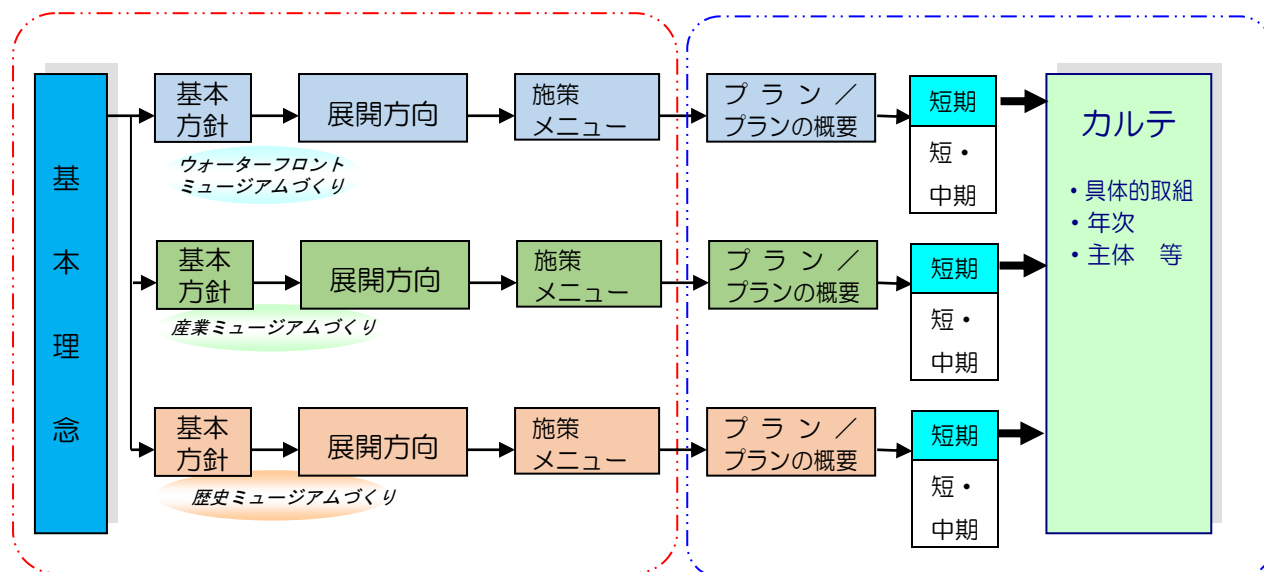
○ 事業主体による枠組み

短期的なプランについては、想定される主体を記載します。

② 行動計画のまとめ方

基本理念	基本方針	基本方針の展開方向	短期 (5年以内)	短・中期 (10年以内)
輝く高砂みなとまちミュージアム構想	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり	○ 市民の暮らしとなぎさの距離を縮めるアクセスの強化 ○ 市民の憩いの場であるなぎさの再生 ○ 周辺地域との連携による一層の水際線利用	部会間の取り組み	プラン
	高砂産業ミュージアムづくり	○ 港湾・道路などの社会基盤の充実による産業支援 ○ 産業の活性化によるにぎわい空間の創出	部会間の取り組み	
	高砂歴史ミュージアムづくり	○ みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現 ○ 歴史ある高砂の祭りの保全と観光資源としての活用	部会間の取り組み	

③ 行動計画の構成



(5) 改訂のポイント

【拡充・新設した主なプラン】

① 高砂ウオーターフロントミュージアムづくり

拡充	プランNo.6	高砂海浜公園・向島公園の利活用、公園整備や公園施設の改良及び海辺の保全
----	---------	-------------------------------------

② 高砂産業ミュージアムづくり

新設	プランNo.17	高砂の表玄関づくり
----	----------	-----------

③ 高砂歴史ミュージアムづくり

拡充	プランNo.19	堀川地区のまちなみの保存
拡充	プランNo.23	既存施設を活用した地域活動の拠点づくり

2 基本方針実現のための取り組み（概要）
(1) 高砂ウォーターフロントミュージアムづくり

	基本方針の展開 方向	施策メニュー	行動計画のプラン		プランの概要	期間 頁・取組No.	取り組み		評価	継 承
							主体	取り組み内容		
高砂ウォーターフロントミュージアムづくり	1 市民の暮らし となぎさの距離 を縮めるアクセ スの強化	① 南北交通軸の 整備促進	ハード 施策	・ 南北交通軸の整備 構想	・ “ウォーターフロントと市街地” 及び “臨海部企業と 広域幹線道路” を結ぶ南北交通軸を整備する。（沖浜 平津線）	短・中 P10 No. 1	県	・ 沖浜平津線（小松原工区）の整備を行う。		
							関係団体、市	・ NPO と地元住民により、宝殿荒井線において街路樹林に 花苗の植栽を行いシンボル道路化を図る。		
	2 市民の憩いの 場であるなぎさ の再生	① 既存施設を活 用した親水空 間の創出	ハード	・ プレジャーボートなどの放置艇対策 構想	・ サービス機能を付加したボートパークや係留施設を整 備し、放置艇禁止区域を設定する。	短・中 P11 No. 4	県	・ サービス機能を付加したボートパークや係留施設を整備 し、放置艇禁止区域を設定する。		
							協議会、市、県	・ 「夕陽」をテーマとした写真展等を開催。		
							各主体	・ 適宜イベントを開催する。		
							協議会、県、市	・ ホタル等水生生物が観察できる小川づくり		
			ソフト 施策	・ あらい浜風公園の利活用、イベントや総合学習などの実施 構想	・ 公園に “夕陽が見える名所” など付加価値をつける。 ・ 水辺、公園だけでなく、アクセス道路も活用したイベ ント等を実施する。 ・ オーナー花壇の充実を図る。	短 P10 No. 2	協議会、市、県	・ 「夕陽」をテーマとした写真展等を開催。		
							市、企業	・ 山陽電鉄以南の公共交通機関のあり方について調査し、 公共交通機関の確保に努める。		
							関係団体、県、市	・ 種子及び花苗の配布、緑化資材提供事業等		
							市民	・ 家や塀の周りに花を飾る「門前花いっぱい運動」を推進 する。		
							県、市	・ 整備、改良が必要な公園施設について、市民ニーズを踏 まえて、必要な施設の整備、改良を行う。		
							県、市	・ バリアフリー化が必要な施設について順次バリアフリー 化を進める。		
							県、市、各種団体	・ アオサ等を取る清掃活動を行い、水質、底質等の保全を 図る。【新規取組】		
							関係団体、県、市	・ 花火大会を実施する。		
							関係団体、県、市	・ たかさご万灯祭を実施する。		
							協議会、関係団体、 市	・ 堀川周辺～海浜公園を利用したイベントを企画する		
	3 周辺地域との 連携による一層 の水際線利用	① 姫路市東部臨 海地域との連 携強化	ハード 施策	・ ホームページ、パンフレットを活用した積極的な PR 構想	・ みなとまちづくり瓦版の発行、高砂みなとまちづくり 構想推進協議会のホームページを充実する。	短・中 P12 No. 8	協議会	・ みなとまちづくりニュースを発行する。		
							協議会	・ 高砂みなとまちづくり構想推進協議会のホームページの 更新を図る。		
							市、県	・ 姫路市東部臨海地域が連携する土地利用について、姫路 市との調整を進めるとともに、高須松村線の整備方法等 について検討する。		

(2) 高砂産業ミュージアムづくり

	基本方針の展開 方向	施策メニュー	行動計画のプラン		プランの概要	期間 頁・取組No.	取り組み		評価	継承
							主体	取り組み内容		
高砂産業ミュージアムづくり	1 港湾・道路などの社会基盤の充実による産業支援	① 港湾機能、道路などの社会基盤の充実	ハード	・播磨臨海地域道路の整備	構想	短・中 P13 No.10	国、県、市	・播磨臨海地域道路の具体化に向け、ルート、道路区分等について引き続き検討する。		
			ソフト施策	・利用者増加に向けた港湾サービスの向上策の検討、東播磨港のポートセーラース	構想	短・中 P13 No.11	県	・地球温暖化ガスの排出削減に寄与する海運へのモータリシフトなど、利用者の意見を聞きながら港湾利用向上策を導入する。		
							県、市	・市内外企業等への需用調査や東播磨港へのポートセーラールを行う。		
	2 産業の活性化によるにぎわい空間の創出	① 産業ツーリズムの推進による企業技術や産業遺産のPR	ソフト施策	・既存港湾の維持管理	構想 部会	短・中 P13 No.12	県、協議会、市民、企業	・景観保護と清潔なまちをつくるため、市民主体による美化活動を展開する。		
				・陸上や海上からの産業ツーリズム、イベントの企画・実施	構想	短・中 P14 No.13	企業、関係団体、市	・地元企業による理科教室や工場見学等を開催する。		
				・商工会議所と企業などによる産業ツーリズム推進組織による取組	構想	短、中 P14 No.14	関係団体、企業、県、市	・ツーリズム推進組織にて、コース設定、企業技術や事業変遷等の公開、教育の場としても活用する取り組みを行う。		
				・伝統産業のPR	部会	短、中 P14 No.15	市、関係団体	・竜山石、高砂染め、松右衛門帆のPRをする。		
		② 規制緩和などのソフト施策による産業誘致・支援	ソフト施策	・空き店舗活用	部会	短・中 P14 No.16	関係団体、市	・空き店舗の実態調査を行うとともに、空き店舗活用方法等についての協議を行う。		
		③ 高砂駅前の再整備	ハード施策	・高砂の表玄関づくり	部会	短・中 P15 No.17	市、関係団体、企業、県	・高砂駅前再整備について、関係団体等と整備イメージ等を検討し、実現に向けた協議を行なう。【新規取組】		
								・高砂駅前再整備方法等について協議を行い、整備を進める。【新規取組】		

(3) 高砂歴史ミュージアムづくり

	基本方針の展開 方向	施策メニュー	行動計画のプラン		プランの概要	期間 頁・取組No.	取り組み		評価	継承
							主体	取り組み内容		
高砂歴史ミュージアムづくり	1 みなとの発展 に 関連深い歴史 的資源の保全・再 現	① 歴史的資源の 保全・再現	ハード 施策	・案内板設置	・地区にふさわしい歴史的資源の説明板及びそれらへの案内板を設置する。	短 P16 No.18	市、協議会	・サイン計画に基づき、説明板・案内板を設置する。		
							市、県	・駐車場、トイレを設置し、道路の美装化を行う。 【新規取組】		
			ソフト 施策	堀川地区のまちなみの保存	・ネットワーク形成のため、堀川水路の護岸改良（散策路整備）、道路の美装化を行う。 ・町家を保存するとともに、ギャラリーや店舗等への活用を図り、説明板や案内板の設置等により体系的にルート化して来訪者を誘導する。 ・有形、無形の歴史資産を調査し、文化財、記念物など、市民の財産として保存する。 ・既存施設を活用して、歴史資料館（室）を常設する。 ・地区外の住民へのPR、地区内の住民の意識高揚を図るセミナーやワークショップを開催する。	短、中 P16 No.19	市、県、協議会、関係団体	・説明板や案内板の設置等により体系的にルート化して来訪者を誘導する。【新規取組】		
							市、県、協議会、関係団体	・堀川地区の歴史資産を調査し、残すもの、残す場所等を検討する。		
							市、県、協議会、関係団体	・既存施設を活用した歴史資料館の位置、規模等について、関係団体等と意見交換し、設置する。		
							市、県、協議会、関係団体	・関係団体とワークショップ等を開催する。		
							市、県、協議会、関係団体	・古い町屋、空き家をギャラリーや店舗に活用する。 【新規取組】		
							関係団体、県、市	・高砂、荒井、伊保、曽根地区において、意見交換会を開催し、住民意識の向上を図る。		
							関係団体、市	・旧入江邸（曽根町；兵庫県重要文化財）の早期公開を目指す。		
							協議会	・みなとまちづくりニュースの発行		
						短、中 P17 No.21	市	・高砂市の歴史・文化等に触れるため、教育委員会と小学校等との連携による総合学習を実施する。		
							協議会、関係団体、県、市	・高砂、荒井、伊保、曽根地区において、意見交換会を開催し、住民意識の向上を図る。		
	2 歴史ある高砂 の祭りの保全と観光資源としての活用	② 堀川水路の景観形成	ソフト 施策	・既存施設を活用した地域活動の拠点づくり	・高砂消防本部高砂分署などの貴重な資源をまちづくり拠点として活用する。（堀川地区のまちなみを保全する拠点として活用）	短、中 P18 No.23	協議会、関係団体、県、市	・歴史的建築物を核としたイベント等の開催について検討し、市民の新しい交流創出を図る。【新規取組】		
				・ボランティアガイドの育成	・市民や旅行者が依頼しやすい語り部（ボランティアガイド）の育成計画を市民参加で策定し、市民主体で実施する。		協議会、関係団体	・既存の団体（歴史ボランティアガイドクラブ、荒井ふさと発見し隊）を中心に行う。		
		① 祭りの保全・活用	ソフト 施策	・祭り探求、祭りのPRと連携	・中学生等が主体となり、祭りを通した神話や地域の歴史を探求し、発表する。 ・特色ある祭りをPRするとともに、祭りに協賛等で支援する。	短、中 P19 No.25	協議会、関係団体、市	・中学校、秋祭り保存会等の連携による取り組みを検討する。（例：総合学習などの活用）		
							協議会、関係団体	・推進協議会HP、観光協会HP等での祭りの特集を掲載する。		

3 高砂みなとまちづくり構想行動計画 改訂版 取り組み43項目

(平成29年度から平成37年度)

高砂ウォーターフロント ミュージアムづくり

取組No.	取り組み項目	取組No.	取り組み項目
2-1	あらい浜風公園の「夕陽」をテーマとした写真展等を開催する。	6-1	高砂海浜公園、向島公園の整備、改良が必要な公園施設について、市民ニーズを踏まえて、必要な施設の整備、改良を行う。
2-2	あらい浜風公園などを活用したイベントを開催する。	6-2	高砂海浜公園、向島公園のバリアフリー化が必要な施設について、順次バリアフリー化を進める。
2-3	あらい浜風公園の小川にホタル等水生生物が観察できる環境づくりに取り組む。	6-3 新規	高砂海浜公園のアオサ等を取る清掃活動を行い、水質、底質等の保全を図る。
2-4	あらい浜風公園の「ふれあい花壇」の充実を図る。	6-4	花火大会を実施する。
3-1	山陽電鉄以南の公共交通機関のあり方について調査し、公共交通の確保に努める。	9-1	姫路市東部臨海地域が連携する土地利用について、姫路市との調整を進めるとともに、高須松村線の整備方法等について検討する。

4-1	サービス機能を付加したボートパークや係留施設を整備し、放置艇禁区域を設定する。
5-1	種子及び花苗の配布、緑化資材提供事業等を行う。
5-2	家や堀の周りに花を飾る「門前花いっぱい運動」を推進する。
7-1	たかさご万灯祭を実施する。
7-2	堀川周辺～海浜公園を利用したイベントを企画する。

1-1	沖浜平津線（小松原工区）の整備を行う。
1-2	NPOと地元住民により、宝殿荒井線において街路樹柵に花苗の植栽を行い、シンボル道路化を図る。
12-1	景観保護と清潔なまちをつくるため、市民主体による美化活動を展開する。

高砂歴史 ミュージアムづくり

18-1	サイン計画に基づき、説明板を設置する。
19-1	駐車場、トイレを設置し、道路の美装化を行う。
19-2 新規	説明板や案内板の設置等により体系的にルート化して来訪を誘導する。
19-3	堀川地区の歴史資産を調査し、残すもの、残す場所を検討する。
19-4	既存施設を活用した歴史資料館の位置、規模等について、関係団体等と意見交換し、設置する。
19-5	関係団体とワークショップ等を開催する。
19-6 新規	古い町屋、空き家をギャラリーや店舗に利活用する。
20-1 22-1	高砂、荒井、伊保、曾根地区において、景観等をテーマとした意見交換会を開催する。
20-2	旧入江邸の早期公開を目指す。
21-2	高砂市の歴史・文化等に触れるため、教育委員会と小学校等との連携による総合学習を実施する。
23-1 新規	歴史的建築物を核としたイベント等の開催について検討し、市民の新しい交流創出を図る。
24-1	歴史ボランティアガイドを、既存の団体（ガイドクラブなど）を中心に行う。
25-1	祭りを通した地域の歴史等について、中学校、秋祭り保存会等の連携により探求する。
25-2	推進協議会、観光協会等のHPで祭りの特集を掲載する。

8-1, 21-1	みなとまちづくり瓦版を発行する。
8-2	高砂みなとまちづくり構想推進協会のホームページを更新する。

15-1	竜山石、高砂染め、松右衛門帆のPRをする。
------	-----------------------

高砂産業 ミュージアムづくり

10-1	播磨臨海地域道路の具体化に向け、ルート、道路区分等について引き続き検討する。
11-1	地球温暖化ガスの排出削減に寄与する海運へのモーダルシフトの促進を図るため、利用者の意見を聞きながら港湾利用向上策を導入する。
11-2	市内外企業等への港湾需用調査や東播磨港のポートセールスを行なう。
13-1	地元企業による理科教室や工場見学等を開催する。
14-1	ツーリズム推進組織にて、コース設定、企業技術等の公開、教育の場としても活用する取組を行う。
16-1	空き店舗の実態調査を行なうとともに、空き店舗の活用方法等についての協議を行なう。
17-1 新規	高砂駅前再整備について、関係団体等と整備イメージ等を検討し、実現に向けた協議を行なう。
17-2 新規	高砂駅前整備方法等について協議を行ない整備を進める。

4 取り組みカルテ

（１）高砂ウォーターフロントミュージアムづくり

			No.	1
プ ラ ン		南北交通軸の整備【構想】（短・中期）		
概 要		“ウォーターフロントと市街地”及び“臨海部企業と広域幹線道路”を結ぶ南北交通軸を整備する。（沖浜平津線）		
実施箇所		沖浜平津線、宝殿荒井線		
取 り 組 み	時 期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）		
	H 29～33 年 度	1-1 沖浜平津線（小松原工区）の整備を行う。（◎県） 1-2 N P O と地元住民により、宝殿荒井線において街路樹柵に花苗の植栽を行い、シンボル道路化を図る。（◎関係団体、○市）		
参 考 （部会員提案）		市民生活に密着したアクセス道路は途中で放っておかず計画が立てられれば一步一步前進させるべきである。 ① 約 50 年前に決定された農人町線が、山陽電車の浜田町踏切の途中で終わり、一歩も前進していない。		
構 想 の 整 合	基本方針	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり		
	展開方向	1 市民の暮らしとなぎさの距離を縮めるアクセスの強化		
	施策メニュー	① 南北交通軸の整備促進		
	基本方針	高砂産業ミュージアムづくり		
	展開方向	1 港湾・道路などの社会基盤の充実による産業支援		
	施策メニュー	① 港湾機能、道路などの社会基盤充実		

			No.	2
プ ラ ン		あらい浜風公園の利活用、イベントや学習会などの実施【構想】（短期）		
概 要		公園に“夕陽が見える名所”など付加価値をつける。 水辺、公園だけでなく、アクセス道路も活用したイベントを実施する。 オーナー花壇の充実を図る。		
実施箇所		あらい浜風公園		
取 り 組 み		時 期	項 目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
		H 29～33 年 度	2-1「夕陽」をテーマとした写真展等を開催。（◎協議会、◎市、○県、○）	
			2-2 適宜イベントを開催する。（◎各主体）	
			2-3 ホタル等水生生物が観察できる小川づくり（◎関係団体、○県、○市）	
			2-4 「ふれあい花壇」の充実を図る。（◎協議会、◎市、○県）	
参 考 （部会員提案）		公園を作るだけでは広域的集客拠点にはなりにくいので、1人でも多くの市民に来てもらうためには、公園にプラスαとなるような付加価値をつける必要がある。		
構 想 との 整 合	基本方針	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり		
	展開方向	2 市民の憩いの場であるなぎさの再生		
	施策メニュー	① 既存施設を活用した親水空間の創出		

			No.	3
プラン		集客力向上のための交通機関との連携【構想】（短・中期）		
概要		臨海部の公共交通機関を確保する。		
実施箇所		臨海部		
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）		
	H 29～33 年度	3-1 山陽電鉄以南の公共交通機関のあり方について調査し、公共交通機関の確保に努める。（◎市、○企業）		
参 考 （部会員提案）	・向島公園への公共交通機関の確保；自動車で行くにしても野球利用者が多いため駐車場がいっぱいである。自転車でも距離があり時間がかかるのでアクセスが悪い。水際に行けるような公共交通機関が必要である。			
構想との整合	基本方針	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり		
	展開方向	2 市民の憩いの場であるなぎさの再生		
	施策メニュー	① 既存施設を活用した親水空間の創出	② 高砂海浜公園・向島公園の再生	

No. 4		
プラン	プレジャーボートなどの放置艇対策 【構想】（短・中）	
概要	・サービス機能を付加したボートパークや係留施設を整備し、放置艇禁止区域を設定する。	
実施箇所	沿岸域	
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）
	H 29～33 年度	4-1 サービス機能を付加したボートパークや係留施設を整備し、放置艇禁止区域を設定する。（◎県）
参 考 （部会員提案）	みなとまち高砂を PR するためにも、南堀川にボートパークや係留施設を整備すべきである。	
構想との整合	基本方針	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり
	展開方向	2 市民の憩いの場であるなぎさの再生
	施策メニュー	① 既存施設を活用した親水空間の創出
	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり
	展開方向	1 みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現
	施策メニュー	② 堀川水路の景観形成

No. 5		
プラン	花いっぱい活動 【部会】（短・中）	
概要	休耕田、遊休地、河川、道路等に花の種を撒き、町を花いっぱいにする。ボランティア、自治会、老人会、地主等の協力を得る。	
実施箇所	全域、堀川周辺	
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）
	H 29～33 年度	5-1 種子及び花苗の配布、緑化資材の提供事業等（◎関係団体、○県、○市） 5-2 家や塀の周りに花を飾る「門前花いっぱい運動」を推進する。（◎市民）
参 考 （部会員提案）	・休耕田や工業地帯、1 年以上使われない空き地に花の種をまき、花いっぱいの町にするためボランティア、老人会、地主等の協力を得る。	
構想との整合	基本方針	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり
	展開方向	2 市民の憩いの場であるなぎさの再生
	施策メニュー	① 既存施設を活用した親水空間の創出
	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり
	展開方向	1 みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現
	施策メニュー	② 堀川水路の景観形成

No. 6		
プラン	高砂海浜公園、向島公園の利活用、公園整備や公園施設の改良及び海辺の保全 【構想】（短・中期）	
概要	駐車場、トイレなど老朽化した公園施設の改良を行う。 親水空間として利用できるように水質、底質等を改善する。 段差を解消などを行いバリアフリー化を図る。 花火大会と併せて効果的なイベントを開催する。	
実施箇所	高砂海浜公園、向島公園	
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）
	H 29～33 年度	6-1 整備、改良が必要な公園施設について、市民ニーズを踏まえて、必要な施設の整備、改良を行う。（◎県、◎市）
		6-2 バリアフリー化が必要な施設について順次バリアフリー化を進める。（◎県、◎市）
		6-3 アオサ等を取る清掃活動を行い、水質、底質等の保全を図る。 【新規取組】（◎県、○市、○各種団体）
		6-4 花火大会を実施する。（◎関係団体、○市、○県）
参 考 （部会員提案）	・青年の家のそばの駐車場を広げる ・向島公園に遊具を増やす ・アクセス道路の改良 ・底質改善、スターウォッチ、アマモ等の取り組みが必要。	
構想との整合	基本方針	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり
	展開方向	2 市民の憩いの場であるなぎさの再生
	施策メニュー	② 高砂海浜公園・向島公園の再生

No. 7

プラン	堀川周辺の歴史再現空間との連携（イベントによる双方への連携など）【構想】（短・中期）	
概要	堀川周辺地区～堀川～海浜公園／向島公園を利用した双方向のイベントを企画する。	
実施箇所	堀川周辺、高砂海浜公園、向島公園	
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）
	H 29～33 年度	7-1 たかさご万灯祭を実施する。（◎関係団体、○県、○市）
		7-2 堀川周辺～海浜公園を利用したイベントを企画する。（◎協議会、◎各種団体、○市）
参考 （部会員提案）		
構想との整合	基本方針	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり
	展開方向	2 市民の憩いの場であるなぎさの再生
	施策メニュー	① 既存施設を活用した親水空間の創出 ② 高砂海浜公園・向島公園の再生
	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり
	展開方向	1 みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現
	施策メニュー	① 歴史的資源の保全・再現

No. 8

プラン	ホームページ、パンフレットを活用した積極的なPR【構想】（短・中期）	
概要	みなとまちづくり瓦版の発行、高砂みなとまちづくり構想推進協議会のホームページを充実する。	
実施箇所	全域	
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）
	H 29～33 年度	8-1 みなとまちづくり瓦版を発行する。（◎協議会）
		8-2 高砂みなとまちづくり構想推進協議会のホームページの更新を図る。（◎協議会）
参考 （部会員提案）		
構想との整合	基本方針	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり
	展開方向	2 市民の憩いの場であるなぎさの再生
	施策メニュー	① 既存施設を活用した親水空間の創出 ② 高砂海浜公園・向島公園の再生
	基本方針	高砂産業ミュージアムづくり
	展開方向	2 産業の活性化によるにぎわい空間の創出
	施策メニュー	① 産業ツーリズムの推進による企業技術や産業遺産のPR
	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり
	展開方向	1 みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現 2 歴史ある高砂の祭りの保全と観光資源としての活用
	施策メニュー	① 歴史的資源の保全・再現 ② 堀川水路の景観形成 ① 祭りの保全・活用

No. 9

プラン	高須松村線の整備【構想】（短・中）	
概要	高砂市と姫路市東部臨海地域とのネットワークを形成し、さらなる水際線利用の可能性が広がる高須松村線を整備する。	
実施箇所	（都）高須松村線～（都）海岸線	
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）
	H 29～33 年度	9-1 姫路市東部臨海地域が連携する土地利用について、姫路市との調整を進めるとともに、高須松村線の整備方法等について検討する。（◎市、○県）
参考 （部会員提案）	・高須松村線について、高砂市行政で計画されて相当の年月が経過しているが、早期の整備が必要ではないか。	
構想との整合	基本方針	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり
	展開方向	3 周辺地域との連携による一層の水際線利用
	施策メニュー	① 姫路市東部臨海地域との連携強化

（２）高砂産業ミュージアムづくり

			No.	10
プ ラ ン		播磨臨海地域道路の整備【構想】（短・中期）		
概 要		高砂臨海部から神戸姫路方面へダイレクトにアクセスが可能となる神戸姫路間道路構想を推進する。		
実施箇所		臨海部		
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）		
	H 29～33 年度	10-1 播磨臨海地域道路の具体化に向け、ルート、道路区分等について引き続き検討する。 (◎国、◎県、◎市)		
参 考 (部会員提案)		・臨海部の企業の物流拠点として、各企業からの横持ちができるアクセス整備が必要。		
構想の整合	基本方針	高砂産業ミュージアムづくり		
	展開方向	1 港湾・道路などの社会基盤の充実による産業支援		
	施策メニュー	① 港湾機能、道路など社会基盤の充実		

		No.	11
プラン	利用者増加に向けた港湾サービスの向上策の検討、東播磨港のポートセールス【構想】（短・中期）		
概要	港湾サービス向上策を検討、実施し、港湾を利用しやすくするシステムの充実を図る。 適正な港湾規模とするため、市内外企業等への需要調査や、東播磨港のポートセールスを行う。		
実施箇所	全域、背後圏		
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
	H 29～33 年度	11-1 地球温暖化ガスの排出削減に寄与する海運へのモーダルシフトなど、利用者の意見を聞きながら港湾利用向上策を導入する。（◎県）	
		11-2 市内外企業等への需用調査や東播磨港へのポートセールスを行う。（◎県、○市）	
参考 （部会員提案）			
構想との整合	基本方針	高砂産業ミュージアムづくり	
	展開方向	1 港湾・道路などの社会基盤の充実による産業支援	
	施策メニュー	① 港湾機能、道路など社会基盤の充実	

			No.	12
プ ラ ン		既存港湾の維持管理【構想・部会】（短・中期）		
概 要		みなとを適切に管理すると共に、利用しやすい施設整備を行う。さらにみなとの活用・安全をPRする。		
実施箇所		各港		
取り組み		時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
		H 29～33 年度	12-1 景観保護と清潔なまちをつくるため、市民主体による美化活動を展開する。 （◎県、◎協議会、◎市民、◎企業）	
参 考 （部会員提案）		・各港湾の利用実態に基づく港湾の機能を整理し、今後の展開を織り込んだ各港湾の在り方、維持管理する項目・基準を設定し、維持管理する5W1Hを明確にする。		
		・港湾の持つ本来の機能を将来にわたって維持できるように、適切な管理が継続的に行えるような環境を整備する。		
		向島海岸をきれいにする	海岸を清掃する。	
		リフレッシュ瀬戸内	ゴミを減らすために、身近な自分の周りから減らしていく。	
		景観保護と清潔なまちづくり	景観保護と衛生的で清潔なまちをつくるため、ポイ捨てを無くすよう条例の改善、強化と啓蒙。ボランティアによる清掃活動の実施。	
		・最低限できることから始めるということで、市民全体で高砂の町の美化運動にまず力を入れてはどうか。		
構想との整合	基本方針	高砂産業ミュージアムづくり		
	展開方向	1 港湾・道路などの社会基盤の充実による産業支援		
	施策メニュー	① 港湾機能、道路など社会基盤の充実		
	基本方針	高砂ウォーターフロントミュージアムづくり		
	展開方向	2 市民の憩いの場であるなぎさの再生		
	施策メニュー	① 既存施設を活用した親水空間の創出		

			No.	13
プ ラ ン		陸上や海上からの産業ツーリズム、イベントの企画・実施【構想】（短・中期）		
概 要		産業、歴史、ウォーターフロントの回遊コースを設定し、市民となぎさの距離を縮める。		
実施箇所		臨海部		
取 り 組 み		時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
		H 29～33 年度	13-1 地元企業による理科教室や工場見学等を小学生対象に開催する。 （◎企業、○関係団体、○市）	
参 考 （部会員提案）		・臨海部企業を結ぶルートづくり；企業の歴史・技術を紹介するPRコーナーを外部から自由に出入りができる場所に設置し、地図を作成する。これらPRコーナーを結ぶルートでのウォーキングイベント（スタンプラリー）の開催。		
構 想 の 整 合	基本方針	高砂産業ミュージアムづくり		
	展開方向	2 産業の活性化によるにぎわい空間の創出		
	施策メニュー	① 産業ツーリズムの推進による企業技術や産業遺産のPR		

		No.	14
プラン	商工会議所と企業などによる産業ツーリズム推進組織による取組【構想】（短・中期）		
概要	高砂の特徴を活かした施設やコースを設定するとともに、既存ストックを活用した展示館等において、企業技術、事業変遷（歴史）等を公開する。また教育の場としても活用する。		
実施箇所	全域		
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
	H 29～33 年度	14-1 ツーリズム推進組織にて、コース設定、企業技術や事業変遷等の公開、教育の場としても活用する取り組みを行う。 （◎関係団体、○企業、○県、○市）	
参 考 （部会員提案）	・大企業だけではなく、特色ある中小企業も含めた視察見学も計画に入れる。		
構想との整合	基本方針	高砂産業ミュージアムづくり	
	展開方向	2 産業の活性化によるにぎわい空間の創出	
	施策メニュー	① 産業ツーリズムの推進による企業技術や産業遺産のPR	

			No.	15
プ ラ ン		伝統産業のPR		
概 要		【部会】（短・中期） 竜山石、高砂染め、松右衛門帆等、古くから高砂で行われてきた産業を展示、冊子等により後世に残す。		
実施箇所		全域		
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）		
	H 29～33 年度	15-1 竜山石、高砂染め、松右衛門帆のPRをする。 ◎市、○関係団体）		
参 考 （部会員提案）		・ 竜山石、松右衛門帆のPR；シンポジウムの実施／関連資料を展示する資料館（室）の開設／学習用、PR用の冊子、ビデオ作成		
構想との整合	基本方針	高砂産業ミュージアムづくり		
	展開方向	2 産業の活性化によるにぎわい空間の創出		
	施策メニュー	① 産業ツーリズムの推進による企業技術や産業遺産のPR		
	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり		
	展開方向	1 みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現		
	施策メニュー	① 歴史的資源の保全・再現		

			No.	16
プ ラ ン		空き店舗活用【部会】（短・中期）		
概 要		野菜や花など地産地消を進めるだけでなく、雑貨などの小売販売店や素人芸の発表の場にもなるよう、空き店舗を活用したアンティークな商店街（横丁）を再現する。		
実施箇所		全域		
取 り 組 み		時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
		H 29～33 年度	16-1 空き店舗の実態調査を行うとともに、空き店舗活用方法等についての協議を行う。 （◎関係団体、○市）	
参 考 （部会員提案）		・ 空き店舗を活用による活力ある商店街づくり；野菜、花等「地産地消」で活性化。その他、おもちゃ、駄菓子、アクセサリ等 ・ 空き店舗活用による発表の場；大道芸等アマチュアの方の発表の場		
構想との整合	基本方針	高砂産業ミュージアムづくり		
	展開方向	2 産業の活性化によるにぎわい空間の創出		
	施策メニュー	② 規制緩和などのソフト施策による産業誘致・支援		

		No.	17	（新設）
プ ラ ン		高砂の表玄関づくり【部会】（短・中期）		
概 要		山陽電鉄高砂駅及び駅前を高砂の表玄関（顔）として官民共同で再整備し、来訪者を迎える。		
実施箇所		高砂駅前		
取 り 組 み	時 期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）		
	H 29～33 年 度	17-1 高砂駅前再整備について、関係団体等と整備イメージ等を検討し、実現に向けた協議を行なう。 【新規取組】（◎市、◎関係団体、◎企業、○県）		
		17-2 高砂駅前再整備方法等について協議を行い、整備を進める。 【新規取組】（◎市、◎関係団体、◎企業、○県）		
参 考 （部会員提案）		・高砂の表玄関であるゆえ、行政、企業連携の元、バリアフリーな明るい駅、駅前にすべきである。 （特急が止まる駅なのに、30 年前からなんの進歩もない。）		
構 想 と の 整 合	基本方針	高砂産業ミュージアムづくり		
	展開方向	2 産業の活性化によるにぎわい空間の創出		
	施策メニュー	③ 高砂駅前の再整備		

（３）高砂歴史ミュージアムづくり

			No.	18
プ ラ ン		案内板設置【部会】（短期）		
概 要		地区にふさわしい歴史的資源の説明板及びそれらへの案内板を設置する。		
実施箇所		高砂町		
取 り 組 み		時 期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
		H 29～33 年 度	18-1 サイン計画に基づき、説明板を設置する。（◎市、○協議会）	
参 考 （部会員提案）		・旧消防署分署のように新たに活用された史跡・古民家などの案内板の設置。		
構 成 の 整 合	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり		
	展開方向	1 みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現		
	施策メニュー	① 歴史的資源の保全・再現		

			No.	19
プ ラ ン		堀川地区のまちなみの保存【部会】(短・中期)		
概 要		ネットワーク形成のため、堀川水路の護岸改良(散策路整備)、道路の美装化を行う。 町家を保存するとともに、ギャラリーや店舗等への活用を図り、説明板や案内板の設置等により体系的にルート化して来訪者を誘導する。 有形、無形の歴史資産を調査し、文化財、記念物など、市民の財産として保存する。 既存施設を活用して、歴史資料館(室)を常設する。 地区外の住民へのPR、地区内の住民の意識高揚を図るセミナーやワークショップを開催する。		
実施箇所		堀川周辺		
取 り 組 み		時 期	項 目 (◎; 中心となる主体、○; 連携する主体)	
		H 29～33 年 度	19-1 駐車場、トイレを設置し、道路の美装化を行う。(◎市、○県)	
			19-2 説明板や案内板の設置等により体系的にルート化して来訪者を誘導する。 【新規取組】(◎市、○県、○協議会、○関係団体)	
			19-3 堀川地区の歴史資産を調査し、残すもの、残す場所等を検討する。 (◎市、○県、○協議会、○関係団体)	
			19-4 既存施設を活用した歴史資料館の位置、規模等について、関係団体等と意見交換し、設置する。 (◎市、○県、○協議会、○関係団体)	
			19-5 関係団体とワークショップ等を開催する。 (◎市、◎関係団体、○県、○協議会)	
			19-6 古い町屋、空き家をギャラリーや店舗に利活用する。 【新規取組】(◎関係団体、◎企業、○市、○県)	
参 考 (部会員提案)		・堀川の景観の再現と保存; 堀川沿いに残る江戸時代からの石垣や舟付場などを調査し、どこを残すか、保存するかを検討する。 ・歴史資産の調査(文化財として); 有形・無形の文化財の確認と、今後指定されるべき内容の調査、市県国レベルの記念物(史跡・名勝)を含む。 ・古い建物を保存しようとする莫大な費用が必要になると思うが、一つでも具体化できるよう、周知な準備で次に繋ぐことが肝要である。 ・現有施設を活用した歴史資料館(室); 一般住民への意識付け、体験学習の場とする。展示物については、関係団体などの全面的協力が必要。 ・心の癒される空間と穏やかな時間の提供(喫茶等)等により積極的な活用を図る。併せて、説明板・案内板を設置し、体系的なルート化とともに伝統的なまつりの開催と合わせることで訪問者の増加を図る。		
構想との整合	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり		
	展開方向	1 みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現		
	施策メニュー	① 歴史的資源の保全・再現 ② 堀川水路の景観形成		

		No.	20
プラン	歴史回廊ルート・観光ガイドづくりとイベント実施【構想】（短・中期）		
概要	高砂、今市、曾根など、港とともに発展した地区を結ぶ歴史回廊ルートの設定、歴史マップの作成及びセミナー等を開催する。		
実施箇所	高砂、今市、曾根		
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
	H 29～33 年度	20-1 高砂、荒井、伊保、曾根地区において、景観等をテーマとした意見交換会を開催する。	（◎関係団体、○県、○市）
		20-2 旧入江邸（曾根町；兵庫県重要文化財）の早期公開を目指す。	（◎関係団体、◎市）
参 考 （部会員提案）	車楽（だんじり）と似合う道の整備	堀川右岸は、高砂神社神幸祭の船渡御の際、車楽が堀川沿いを供奉する。これにあわせたウォーキング回廊を設定。左岸も対象とする。その他、海浜公園と右岸（南材木町を結ぶ回転歩道橋の再現）	
	対象地区のまちなみを歩き、現状把握し、保全・再現の面から課題を探る	部会メンバーが中心になって、関係団体などのよく熟知した担当者に案内を願う。その後集会を開き、ハード、ソフト面の課題とその解決策をまとめる。	
	観光資源の再評価と整備・PRする	歴史的、文化的資源として、セミナーやワークショップの実施、冊子、ビデオ（またはCD）、高砂史年表などを作成。市内のスタンプラリー実施。	
	市民が近づける水辺の創造	遊歩道の設置、水際の改修、昔あった神社周辺の水路の再現と並木。	
構想との整合	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり	
	展開方向	1 みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現	
	施策メニュー	① 歴史的資源の保全・再現	② 堀川水路の景観形成

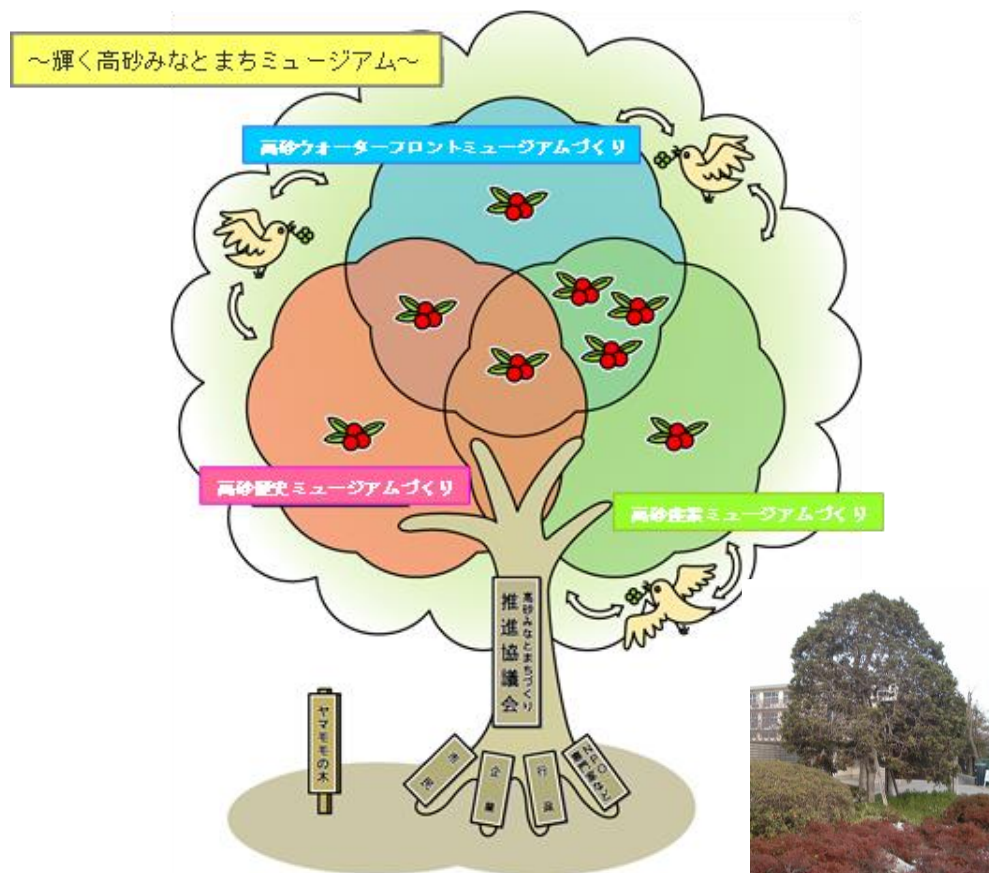
		No.	21
プラン	地元住民への高砂市の歴史のPR活動【部会】（短・中期）		
概要	高砂市史などを各自治会等に頒布する等のPR活動を行う。		
実施箇所	全域		
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
	H 29～33 年度	21-1 みなとまちづくり瓦版の発行。	（◎協議会）
		21-2 高砂市の歴史・文化等に触れるため、教育委員会と小学校等との連携による総合学習を実施する。	（◎市）
参 考 （部会員提案）	・高砂市史の有効利用；自治会単位で高砂市の歴史を啓蒙する。		
構想との整合	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり	
	展開方向	1 みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現	
	施策メニュー	① 歴史的資源の保全・再現	

		No.	22
プラン	文化交流・育成 【部会】（短・中期）		
概要	昔の遊び、海、海と山、謡曲など、高砂の文化について他団体や市民との交流により、保存、育成する。		
実施箇所	全域		
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
	H 29～33 年度	22-1 高砂、荒井、伊保、曾根地区において、意見交換会を開催し、住民意識の向上を図る。 （◎協議会、○関係団体、○県、○市）	
参 考 （部会員提案）	昔の遊び復活	こま回し、風揚げ、ビー玉、べったん、かるた、百人一首等、高齢者と小中学生が安全に一緒に遊べる場所を空き店舗、空き教室を利用して溜り場にする。	
	謡曲「高砂」海の文化交流	九州阿蘇～高砂～住江（吉）の謡曲を題材とした文化交流	
	瀬戸内海航路（江戸時代を中心に）内海路と高砂 文化交流	金比羅参りの航路の検証や小豆島巡り等、海の文化交流。浪華と各地の中継地としての視点で、広く万葉の時代から歌謡された景勝地を海から歴史散策をする機会をつくる。（赤石、屏風ヶ浦、名寸角の浜、針間、鹿児島門、高砂）	
	加古川流域文化と海運文化との交流	日本海へ結ぶ分水嶺の一つである加古川水系と内海との舟運関連の歴史交流（滝野歴史民族資料館、海の時空館などの連動交流展を含む）	
	港の文化交流（高砂学の提唱）	経済人、文人墨客、貴人などの人物史などを中心に行う。何故、高砂と呼ばれ、全国に広がったかなどを検証 など	
	海と山の文化、意識啓蒙活動	広域的に加古川流域文化と海洋文化（瀬戸内等）の接点を探索する研修会の開催や、海と川と山（森）が形成した美観の保全や海を守るために山を守る運動の展開。循環型社会の形成に歴史的な生活域からのアプローチを高砂オリジナルとして実践する。	
	高砂歌謡文化の育成	高砂は万葉の時代から多くの歌が詠われているところとなっている。中世には謡曲「高砂」に謡われ、近代にも文人墨客が多くの歌を残しているため、その検証と現代によみがえる歌ごころの育成を図り、次世代に受け継ぐ基盤の整備をする。歌垣によって恋愛講座を開く。	
	お寺や神社を市民の交流の場に	お寺や神社をもっと市民の交流の場に活用する。	
	高砂観月能への協力、保存、育成	高砂の象徴とも言える謡曲「高砂」のPRと堀川地区中心的存在の高砂神社のPR。伝統文化の保存、育成。	
構想との整合	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり	
	展開方向	1 みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現	
	施策メニュー	① 歴史的資源の保全・再現	② 堀川水路の景観形成

		No.	23
プ ラ ン		既存施設を活用した地域活動の拠点づくり【構想】（短・中期）	
概 要		高砂消防本部高砂分署などの貴重な資源をまちづくり拠点として活用する。（堀川地区のまちなみを保全する拠点として活用）	
実施箇所		堀川周辺	
取 り 組 み	時 期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
	H 29～33 年 度	23-1 歴史的建築物を核としたイベント等の開催について検討し、市民の新しい交流創出を図る。 【新規取組】（◎協議会、○関係団体、○県、○市）	
参 考 （部会員提案）			
構 想 の 整 合	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり	
	展開方向	① みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現	
	施策メニュー	② 堀川水路の景観形成	

			No.	24
プ ラ ン		ボランティアガイドの育成【構想】（短・中期）		
概 要		市民や旅行者が依頼しやすい語り部(ボランティアガイド)の育成計画を市民参加で策定し、市民主体で実施する。		
実施箇所		全域		
取り組み	時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）		
	H 29～33 年度	24-1 既存の団体（歴史ボランティアガイドクラブ、荒井ふるさと再発見し隊）を中心に（◎協議会、○関係団体）行う。		
参 考 （部会員提案）		・語り部の育成；指導者のもと公募によるメンバーが主体的、自主的に語り部の育成計画を推進する。育成計画は、指導者からのガイダンス、語る要旨の作成、役割分担（対象地域）の取り決め、室内研修、実地訓練など。「高砂では、いつでも安心、親切に案内してくれる」イメージを浸透させる。 ・部会で実地に皆さんで歩いてボランティアガイド体験を実施する。		
構想との整合	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり		
	展開方向	① みなとの発展に関連深い歴史的資源の保全・再現		
	施策メニュー	② 堀川水路の景観形成		

			No.	25
プ ラ ン		祭り探求、祭りのPRと連携【部会】（短・中期）		
概 要		中学生等が主体となり、祭りを通して神話や地域の歴史を探求し、発表する。 特色ある祭りをPRするとともに、祭りに協賛等で支援する。		
実施箇所		全域		
取 り 組 み		時期	項目（◎；中心となる主体、○；連携する主体）	
		H 29～33 年 度	25-1 中学校、秋祭り保存会等の連携による取り組みを検討する。（例：総合学習などの活用） （◎協議会、○関係団体、○市）	
			25-2 推進協議会HP、観光協会HP等での祭りの特集を掲載する。 （◎協議会、◎関係団体）	
参 考 （部会員提案）		・祭り探求；各地域の祭りを通して、神話の歴史や、地域の歴史を探求する。（教育委員会を通し、各中学校などの生徒にお願いをし、発表会の場などを設ける。） ・高砂の祭りの保存・連携；高砂・荒井・曾根（大塩も含める）の祭りは、各地各様である。これらについて、民俗的調査をして、それを冊子にして、それぞれの祭りの特色をアピールする。また、秋祭り以外の様々な祭り（なんなる祭り、数珠操り、観音経転読、子供の尻相撲、とんど、花の会、筆供養、針供養、尉姥祭、金時祭り等々）がある。これからも絶やさないようにしていかなければならない。		
構 想 の 整 合	基本方針	高砂歴史ミュージアムづくり		
	展開方向	2 歴史ある高砂の祭りの保全と観光資源としての活用		
	施策メニュー	① 祭りの保全・活用		



～高砂みなとまちづくり構想 シンボルの木～

ヤマモモは潮風に強い常緑の高木で、近隣に雄株がないと結実しないという特徴があり、プライダル都市高砂を象徴する木といえます。常緑で潮風に強く、生命力みなぎるその様と真っ赤な果実は今後の高砂みなとまちづくりのめざす高砂市の活力向上のイメージにもつながるものであるため、高砂みなとまちづくり構想のシンボルとして位置づけています。

高砂みなとまちづくり構想 行動計画 改訂版

2017（平成29）年4月

高砂みなとまちづくり構想推進協議会

事務局：高砂市まちづくり部まちづくり推進室都市政策課

〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号

Tel 079-443-9033 Fax 079-443-9091

Mail tact3810@city.takasago.lg.jp